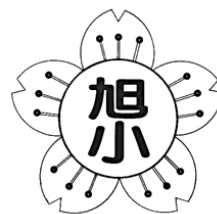


- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



そうぞうてききゅうか

創造的休暇

お子さんと一緒にお読みください。

旭小学校の児童のみなさん、ごきげんよう。

新しい学年がはじまったかと思ったら、また1ヶ月の休校となってしまいました。しかも今は、3月よりもコロナウイルスが広まっていて、なかなか外にも出られませんね。「つまらないな～」と不満を言ってばかりいてもたのしくありません。お家の人や兄弟に文句を言っても気持ちよくありません。ゲームばかりも健康に悪いです。

放送による始業式でニュートンさんの〈創造的休暇〉のお話をしました。ぜひ、みなさんもせっかくどこへも行けない時間ができたのですから、いつもならできなかったこと、しなかったことをやってみたらどうでしょう。

1 つくってみる

じっくり、絵や工作をしてみてもいいかでしょう。だれにでもとくいなものがあります。何かをつくってみると今まで気づかなかったことが好きになれるかも知れません。学校の授業でやるような絵や工作だけでなくもいいです。ひたすらおもしろい迷路をつくるとか、プラモデルに挑戦するとか、すごく大きいものや小さいものをつくってみるなんてこともたのしそうです。野菜やお花を育てるのもいいかも知れません。学校がはじまったら、もって来て(運べないものは写真を撮って)見せてください。

2 身のまわりのかたづけ

おもちゃや本などをぜったいにすてられないものとするもいいものにわけてみましょう。小さいころに夢中になったおもちゃや絵本などそのころの気持ちを思いだしてたのしいと思います。どうして、すてたくないのか考えてみると新しい発見があるかも知れません。



3 とくいわぎを身につける

すごいピアノの曲^{きよく}をひけるようにするとか、こまやけん玉^{だま}などわざをみがくとか、外^{そと}に出てなわとびのとびかたを練習^{れんしゅう}するとか、リフティングの数^{かず}をふやすとか、とにかくこれまでできなかったことをできるようにしてみてもいいです。駅^{えき}やきょうりゅうの名前^{なまえ}をたくさんおぼえるのもたのしいかも知れません。学校^{がっこう}がはじまったら見せてください。

4 お家のお手伝いをする

もう小学生^{しょうがくせい}ですから、何か^{なに}お家のやくにたつことをしてみましよう。できること^{うち}でいいです。お家の人^{ひと}と相談^{そうだん}してできそうなことをやってみましよう。

5 本を読む

いい本^{ほん}を読むと脳^{のう}みそと心^{こころ}がゆたかになります。いつもなら読まないような本^{ほん}を読んでみてください。登校日^{とうこうび}に図書室^{としよしつ}を開いて本^{ほん}を借りられるようにします。



6 夏休みの宿題をやってしまう

毎年^{まいとし}ある夏休み^{なつやす}の宿題^{しゅくだい}を先にやってしまうなんていうのもいいかも知れません。いつも出る感想文^{かんそうぶん}を書く、自由研究^{じゆうけんきゅう}をやってしまう、ポスターや絵^えを仕上げ^{しあげ}ておくなどです。すると、夏休み^{なつやす}にじゆうな時間^{じかん}が増えますね。

7 コロナウイルスが無くなったらしたいことを書いてみる

自由^{じゆう}に出かけられたり、友達^{とも}と遊ぶ^{あそ}べたりしたらやりたいことをそうぞうして書いてみましよう。気持ち^{きもち}がワクワクしてきます。それに、自由^{じゆう}や友達^{とも}がどんなにいいものか、よ〜く分^わかるとおもいます。

8 もちろん教科書の勉強も

学校^{がっこう}から出された宿題^{しゅくだい}だけでなく、分^わからなかったところや忘れてしまったこと^{わす}を思い出^{おも}してみましよう。先生^{せんせい}は学校^{がっこう}にいますから、電話^{でんわ}で質問^{しつもん}してもいいですよ。7日^{くば}に配^{あた}られた新しい教科書^{きょうかしょ}をながめてみてたのしそなところ^{じゆぎょう}をさがして授業^{じゆぎょう}がはじまるのをたのしみにまつのもいいでしょう。

とにかく、せっかくの時間^{じかん}ですから、自分^{じぶん}のやくにたつことに使^{つか}って、くかしこく、やさしく、たくましくなりたいましよう。5月^{がつ}に普通^{ふつう}の生活^{せいかつ}にもどったら元氣^{げんき}にあいましよう。